

## 令和4年度 学校教育自己診断 分析

生徒（この学校に入学して良かった） 肯定率 83%

保護者（子どもをこの学校に入学させて良かった） 肯定率 90%

生徒の肯定率は昨年度と全く同じポイントであったため、コロナ禍において、一定安定した学校生活が生徒たちに提供できていると推察できる。これからも高く評価され、愛される学校づくりが重要である。

保護者（学校からホームページ・メルマガを通じ適時情報提供がされている） 肯定率 84%

教職員（教育活動に必要な情報について、ホームページやメルマガを通じて生徒・保護者や地域への周知に努めている） 肯定率 97%

メールで定期的に配信したことが評価されているとともにメールでの連絡が定着してきていると推察できる。今後も、保護者や地域の方々としっかりつながりを持ち、生徒が活躍する学校にしていきたい。

### （授業関連）

肯定率 生徒 77% 教職員 88% 保護者 55%

昨年度に比べ、生徒の肯定率は1ポイント、教職員の肯定率は4ポイント、それぞれ上がった。教職員が各自で工夫し、「ICT機器を活用した授業」「生徒が発表する機会がある授業」を行った結果であると推察する。一方で、「学校は生徒1人1台端末のChromebookを（授業やアンケートで）効果的に活用している」については、生徒の肯定率は高くなく、今後の課題として各教員の取組を共有し、学校全体としてレベルアップする体制整備を図っていきたい。

### （進路関連） 肯定率 生徒 86% 教職員 100% 保護者 82%

昨年度に比べ、保護者の肯定率は14ポイント（生徒の肯定率は1ポイント）上がり、2年連続の上昇となった。8割を超えてきたので学校の進路指導は一定評価いただいている。今年度も難関私立大学の合格者も増え、過去最高の進学実績を残せた。今後もこの傾向を引き続き保ちたい。

### （人権教育関連） 肯定率 生徒 71% 教職員 81% 保護者 62%

昨年度に比べ、生徒の肯定率は3ポイント、教職員の肯定率は5ポイント、それぞれ下がった。生徒の評価として、「先生は私たちが困っていることがあれば、適切に対応してくれる」の項目でポイントを下げていた。生徒が安全で安心できる学校であり続けるため、学校体制の改善に取り組む。